

坂原集落「集落営農ビジョン」

作成日：平成25年 6月19日
修正日：平成 年 月 日

市町村名	智頭町	組織名	坂原水稲生産組合
1 地区の範囲 八頭郡智頭町 富沢地区			
2 地区の概要			
水田面積	9.8 h a		
主な水田栽培作目	水稲・野菜		
農家数	16 戸		
認定農業者数	0 経営体		
地域水田農業ビジョンの担い手数	0 経営体		
3 組織化の目標（設立時期の目標は、事業実施年度内とする。） ・設立時期（規約等の制定日）【平成25年 3月23日】			
	組織形態（該当形態に○）	構成農家数	
【現状】事業開始年度 （25年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未組織 <input checked="" type="radio"/> 共同利用型 ・ 作業受託型 ・ 協業経営型 	16 戸	
【目標】事業開始翌年度 （26年度）	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 共同利用型 ・ 作業受託型 ・ 協業経営型 	16 戸	
注1）集積率の目標値を現状より高い数値に設定することが困難な場合、構成農家数の増でも可。			
4 集積率（経営、機械の共同利用及び作業受託）の目標			
項 目	【現状】（平成25年実績）	【目標】（平成27年度）	
集 積 面 積 A	0 h a	6.9 h a	
対象水田面積 B	9.8 h a	9.8 h a	
集 積 率 A/B	0.0 %	70.41 %	
注1）集積率の目標は、50%超が採択要件。			
注2）集積率の目標は、原則として現状よりも高い数値を設定すること。			
注3）集積面積の詳細は、別表「集積目標（実績）一覧」により作成。			

I 集落営農に対する基本方針(自由に記載)

<p>【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】</p>
<p>1 担い手の明確化及び水田利用集積目標 坂原集落は智頭町の西側に位置する富沢地区のうち、智頭町の中心部に最も近い集落集落で、現在の農家数は16戸、水田面積は約10ha。16戸の農家のうち、農業従事者は65歳以上が8割を占め、農家後継者のほとんどが勤め人の兼業農家である。 そこで、安定的な営農を継続するため集落営農組織を設立し、共同利用型の集落営農に取り組むことにした。 事業で導入するコンバインを共同利用することで、平成27年度までに水稲面積6.9haの稲刈作業の集積を図る。</p>
<p>2 水田作付計画、生産調整の方針・具体策 水稲については、生産調整目標に応じた作付面積を確保しつつ、平成27年度までに6.9haの農地で共同機械利用による農作業を集積する。 また、複数の水稲品種を作付けすることで、体系的かつ効率的な作付及び収穫作業を推進する。</p>
<p>3 農業用機械施設の効率利用 近年、集落内の各農家が所有するコンバインの老朽化が顕著に現れている。個人が所有するコンバイン(3条刈1台、2条刈1台)を平成26年度までは組合で活用し、平成27年度以降は、老朽化した2台を廃棄し、事業で導入したコンバイン1台に集約して共同利用する。</p>
<p>4 世代交代、組織の後継者育成に関する方針 現在の農業従事者は60代が中心となっており、今後懸念される後継者不足を集落で補うことができるよう、組合を核として後継者の営農参画を促進し、集落営農体制の運営・維持を図っていく。</p>
<p>5 経営多角化の方針・具体策【経営多角化支援メニューを実施する組織においては必ず記入】</p> <p>なし</p>

II 農業用機械施設の整備方針

1 機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額(千円)	導入予定年月	本事業による導入機械に○
コンバイン一式	3条	1	4,626	H25.8月	○
合計			4,626		